



宗谷の教育 学校づくりの1年間

小学校編



学校の1年間や、管内の行事、宗谷教組の行事などについて、簡単にご紹介します。「これってどういうことかなあ」というのがあったら、近くの宗谷教組に加入している先生に聞いてみてください。

4月

新学期、子どもたちを迎えよう

新しい学級を持つ時には、こんなことに気をつけています。
【学級づくり】では、進級して「がんばるぞ」という気持ちでいっぱいの子もたちと一緒に、1年間やり通せる目標（学級目標）を立てることです。長い1年、思い描いた通りにはいかないこともあります。そんな時に子どもたちと学級目標を振り返り、気持ちを切り替えていくことも大切です。
【授業づくり】で大事なものは、1時間の「めあて」を立てることです。「今日は子どもたちがここまでがんばったらOK」というおさえをしておけば、そのために必要な教材や発問の準備が具体的にイメージできます。特に国語や算数など、基本的に毎日授業がある教科は、めあて作りを欠かさず行くと良いです。ここまで知った風にしてきましたが、これはあくまで一例です。みなさんの周りには多かれ少なかれ経験を積んだ先輩の先生方がいるはず。困った時はなんでも尋ねてみましょう。きっと力になってくれますよ。

5月

組合のみんなで学ぶ「学び愛フェスタ」

これから活躍していくフレッシュな先生も、経験豊富なベテランの先生も一同に集まって、語り合い、深め合い、学び合う学習会です。毎年開設される様々な講座の中から、いま自分が学びたいことをピンポイントで学ぶことができます。5月に開催されるので、今年度から勤務を始めた先生、初めて担任を持つ先生などには特にオススメ！すぐに学級に持ち帰り、活用していくことができちゃいます。そして、たくさんの先生方との交流もできます。参加して損はありません！ぜひ、宗谷教組に加入して、みんなで学び合しましょう。

◆「学び愛フェスタ」は、宗谷教組を中心に実行委員会を結成して実施しています。

6月

運動会のシーズン！

宗谷管内では、5月から6月にかけて運動会を行う学校が多いです。小学校では、運動会特別時間割を組み、運動会の種目や入退場などの練習に取り組みます。運動が得意な子にとってはまさに活躍の場、到来です。でも、運動が苦手な子ども達も輝けるように、種目を工夫したり、学級での取り組み方を考えたりと、まさに学級作りに知恵を絞る機会でもあります。1学期に行われる運動会は、学級作りに結びつくとても大切な行事です。
また、運動会は保護者や地域の方もとても楽しみにしている行事で、子どもたちの活躍に負けじとPTA種目に参加してくれる大人も運動会を大いに盛り上げてくれます。運動会の主役は子ども達なので先生方は裏方ですが、この時ばかりはぜひ大人の中に混じって、一緒に運動会を楽しみながら盛り上げましょう！あとは当日がしっかりと晴れるよう、「日より上げ」などの行事で全力を尽くして晴天を祈願しましょう。

7月

8月

夏、盛り上がる宗谷教組の青年部活動

宗谷の先生方の特徴の1つとして「若い先生」が多いこと。若い先生の特権でもある「元気」「エネルギー」「学びたい意欲」「人と交わる力」・・・をつなぎ合わせているのが宗谷教職員組合青年部の活動です。
隣の町村と一緒に学習会をする、ベテランの先生を囲んで学び合う、スポーツ交流を楽しむ、自然の中で活動する、先生同士の懇親を深めるなど、そのアイデアは無量大！「組合活動って楽しい」「より多くの人と出会える」「若い先生が宗谷を支えている」と感じる事ができる素敵な活動が待っていますし、共に創り上げていきたいと思います。

9月

管内母女・管内研、学ぶ機会が盛りだくさんの秋

毎年秋は、盛りだくさんの「学びの秋」となる宗谷です。
「母と女教師の集い」（通称母女ははめい）では多くの保護者・地域の皆様と共に講演会、分科会、講座で学びあいます。昨年度は、絵本作家の宮西達也さんを講師にお招きしました。分科会・講座では、親子で体を動かしたり、クッキングをしたり、子育てについて語ったりと、すべての母親と子供たちが健やかになってくれることを願い活動しています。もちろん、男性の先生方の参加や協力も不可欠です。教師と、地域保護者が一体となって創り上げている会です。
管内的な学びの場として、宗谷管内教育研究大会があります。昨年度で三回目の開催となりました。子ども達の確かな学力づくりと豊かな心を育むため、管内的な学び合いの場を作り出そうというねらいをもって、宗谷管内の教育関係者の念願が叶った大会です。宗谷管内の教職員が数百人規模で集まる様子は圧巻です。「自分の専門科目を学びたい」、「実践の検証をしたい」など宗谷管内の先生方が一堂に会して学びあう貴重な大会です。

◆管内母と女教師の集いは、管内の女性教職員を中心に実行委員会を結成し、運営されています。
◆管内教育研究大会は、管内の教育関係者が実行委員会を結成し、運営されています。

10月

学校の文化創造活動、学芸会

10月は学芸会一色です。学校の教育活動の様子を見ていただこうと、保護者や地域の方々に広く呼びかけ、体育館は人であふれ返ります。たくさんの拍手や歓声を受けた子どもたちは、いっそう自信を深め、成長していきます。
劇・器楽・合唱・和太鼓・踊り・・・などなど、その年の発表を何にするか決めるところから取り組みが始まる学芸会。そのポイントは、「その演目を通して、子どもに何を学ばせるか」です。「努力をくり返し、向上していく大切さ」、「仲間同士の認め合いや励まし合い」、「みんなで1つのものを創り上げる喜び」、「うまくいかない思いや仲間との衝突などをどう解決し前進していくかの学び」、「学級や学年のチームワーク」など、子どもたちと1つ1つ確かめ合いながら歩む日々が続きます。
ステージで光り輝く学芸会当日の子どもたち。私たち教師は、当日の出来栄以上に、子どもたちのそれまでの道のりの中での苦勞・葛藤を思い出しながら、子どもたちの一生懸命でひたむきな姿に感動し、人一倍大きな拍手を子どもたちに贈ります。1年の半ばに、子どもの成長の大きな節目の行事があり、それをみんなで大切にしている、それが「学芸会」です。

11月

合同教研

合同教育研究全道集会是、「平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして」、1976年の第1回開催以来、道内の教育関係者、父母、道民が集い40年近い歴史を刻んでいます。札幌を会場に大学などでの開催が多いです。午前はテーマ討論、午後から分科会、そして記念講演など非常に内容も濃い集いです。日ごろの実践をレポートにして持っていくことで、学びの機会が増え勉強になります。組合員なら旅費も出て学びにいけるので、非常に良い経験となるでしょう。学校現場では学ぶことのできない、目から鱗の学習が待っていますよ！

12月

学校づくりと人事の取り組み

まだ3学期は残っていますが、すでに次年度の人事の動きが始まるのがこの時期。まだ異動の基準年数に達していないから・・・と何も考えないでいると、後で焦ったり困ったりするよ。校長や、職場の仲間から必ず聞かれる時があるから、あらかじめこんなことを考えておくといいかも。

○次年度、または何年後、自分はどの市町村、どの学校でがんばりたいと思っているのか。

- ・家族がいるなら、子育ての見通しも。
- ・利尻、礼文との人事交流についてもぜひ考えてみてね。

○残るなら、自分は校内のどんなポジションでがんばりたいのか。

- ・何年生を担当したい、こんな分掌を持ちたい（次年度だけでなく、数年後も見通せるといい）
- ・職場で共通にある「めざす学校像」に向かって、自分が引き受けられること
- ・挑戦しなければならぬことは何か。
- ・「どこでもいいっす」は禁句！ベテランの先生から怒られる！若いなら野望を持って！

○同じ職場の仲間との協働について。

- ・学校を共につくっていく仲間、目を向けよう。
 - ・時には、仲間が「あなたに必要な力は・・・。がんばりどころは・・・。」と客観的に伝える場面も必要。
- これらを考える上で、一番の土台になるのは、**自分がどんな教師になりたいのか。**
これを胸に刻んで、学び吸収し、楽しく次年度の学校づくりと人事の取り組みに向かっている！

2月

組合活動の大きな節目、定期大会・支部年次大会

組合活動の1年の総まとめを定期大会・各支部の年次大会で行います。2月、多くの組合員がいる稚内支部は「年に一度は組合に集おう！」を合い言葉に、ほとんどの組合員が集まります。各分会からは1年のまとめとして、様々な発言があります。「まわりの方々を支えられ、1年間がんばることができました」、「組合に入って、人とつながりあうことの大切さを学ぶことができました。」など、宗谷教職員組合に入り、同じ職場で人とつながることの大切さ、子どもを中心に教育することの価値を見いだしてきました。
組合に入っていることは、普段そんなに気にすることはありませんが、みんなで集まり語り合い、「そうだよな」と感じることができる。これが「自分は組合でがんばっているんだ」ということだと思います。一人ががんばるだけでなく、みんなでがんばる、それが宗谷の教育の大切にしていることであり、宗谷の教育の特徴です。それが多く語られるのが支部年次大会です。